

“社会を明るくする運動”岸和田地区推進委員会
委員会賞 〈中学生の部〉

勇 気

社会とは何か。普段から新聞やテレビなどで耳にすることが多いが、あまり深く考えたことはない。よく簡単に「共同生活をしている人々の集まり」といわれるが、共同生活といってもいろいろある。例えば、学校だったり家庭だったり、自分の身の周りでも見つけることができる。

では、明るい共同生活をおくるために私に出来ることは何だろうか。「良い人間関係を築くこと」や、「環境を整えること」など、私にも出来ることはたくさんある。しかし、実行するためには「勇気」が大切だ。勇気は誰もが持っていて、気持ちを変えればすぐに出すことが出来る。

私が小学校に入学したばかりの頃、知らない人ばかりで不安だった。幼稚園からの友達はいたものの、数は少なかった。このままではいけないと思い、勇気を振り絞って席が近い友達に少し話しかけてみた。すると自分に自信がついて、いつの間にかその友達だけではなく、いろいろな子と話すようになっていった。小さな勇気を出すのに時間がかかったものの、小さな勇気を出すだけで、学校でのより明るい共同生活をおくることができたのである。

このように、正しい勇気の使い方をすれば、たくさんメリットがある。しかし、「勇気」には正しい使い方だけでなく、間違った使い方もある。

犯罪の中でも多いものとして、窃盗が挙げられる。確かに、駐輪場に数多く停めてある自転車の中から一つ盗んでみたり、店の商品をそっと自分の鞆にしのばせたりする行為は簡単である。だが、実際に行うには、かなりの勇気が必要だと思う。この「勇気」は、周囲や自分までもを暗くする間違った使い方をした勇気だ。犯罪者は、きっと心の奥ではやってはいけないと思っただけで、もしその時点で良い勇気を出すことが

できれば、犯罪につながるようなことは少ない。しかし、犯罪を犯す手前の人の全員が良い勇気を出し、行動を変えることは難しい。その中で自分たちが出来ることはないだろうか。私は環境づくりが大切だと覆う。

実際に犯罪が発生しやすい場所は、ゴミや落書きが多かったり、人が少ない場所だと聞いたことがある。そのような環境をつくらないためには、ほんの小さな勇気が必要である。例えば、道にゴミを捨てている友達に注意をしたり、自分からゴミを拾ったりするなど、小さなことでも良い環境につながる。ほかに、人と関わりやすい環境をつくることもたいせつである。犯罪者が自分で悪い勇気に気づき、良い勇気もち行動を変えるより、周囲の人が悪い勇気を指摘し、良い勇気へ切りかえる手助けをする方が簡単だろう。そのためには、周囲の人に挨拶をしたり、地域での活動や取り組みに参加して交流を深め、周囲との距離を近づける必要がある。自分ももし犯罪者を見たとき、ひとりで直接犯罪者に話しかけて指摘するには、とてつもなく大きな勇気が必要である。しかし、普段から小さな勇気で地域との交流を深めておくことで、そのような時も一人で悩まず、周囲の人に相談しやすくなったり、地域で見守ったりすることが出来るのではないだろうか。

学校の中でもおなじみである。まずは良い人間関係を築き、友達がいじめっ子ならば止める勇気、いじめに誘われても断る勇気が大切だ。そして、誰かが悪い勇気を出してしまった場合、それを見逃さないような環境をつくることで学校での明るい共同生活が成り立つだろう。

共同生活において、避けることができないのは人との関わりである。むしろ、人との関わりがないと共同生活と言うことはできない。そんな中で共同生活、つまり社会を明るくするためには、普段の生活や人間関係などで勇気を持つことが大切だ。人との輪を広げたいと思っただけでなかなか実行できないならば、ほんの少し勇気を出して挨拶をしてほしい。少しの勇気でも変わることが出来るだろう。はじめから大きな勇気を出すことはハードルが高いが、小さな勇気を積み重ねて大きくすることはハードルが低いと思う。まずは一人一人が正しい勇気の使い方を理解し、少しずつそれを発信することが社会を明るくすることにつながる

のではないか。私は明るい社会のために、正しい勇気の使い方を理解することからはじめたい。

市議会議長賞 〈中学生の部〉

社会を明るくする運動

犯罪や、非行は今でも増えていっています。特に最近では、コロナで家で勉強をすることや学校が休みになることが多いと思います。勉強を家でいくらしめても、少しの休暇でスマホを触ることが多いと思います。今は、時代がよくなっているのですが、SNSで発信することがほとんどだと思います。外になかなか出れないこともあって、SNSとかで悪口を言う方が多くなると私は思います。最近のニュースでも、SNS関係で亡くなっている方が増えてきています。外になかなか出れない分、ストレスを感じるのかわかります。ですが、自分のストレスをSNSで知り合った方にあたるのは、どうかと思います。もしそれをつづけて、ストレスはっさんで悪口を言った方が亡くなられた場合、あなたはどうしますか？私は、やってはいけないことをしてしまっただけで、自分まで死んでしまうかもしれません。ですが、大分無責任だと思いません。一つの命をうしなわせといて、自分までなくなってしまうなんてほんとうに無責任だと思えます。そこでなぜ、イジメや非行をおこなうのか考えてみました。まず、最初に考えたのは、非行はダメだと思いません。非行をなくすには、やっぱり、今後のことを考えてみたり、親にすなおになってみたらと思います。でも、すぐに素直になれって言われてもむりだと思います。だから少しずつなおしていけばいいと思います。次は、イジメについて考えていきます。私も小さい時は、少しイジメられていました。ですが、ニュースとかでよくやっていることまでは、いかなかったです。名前でよく遊ばれたり、石をよく投げられただけです。ですが最近では、私よりひどいイジメが増えていっています。SNSでイジメだったり、学校で物をかくされたり、水をかけられたりとか

色々なやがらせをうけてる人がたくさんいます。前にニュースでも「イジメられた人」は、ほんとうにつらかったと思います。学校ではぶられたりして、ほんとうにつらいと思います。だから、私は、イジメをおこなった人は、ゆるせません。イジメをおこなって、「やっぱりしなきゃよかった」が思う人が多いと思います。ですが、ほんとうに反省して、今後、ぜったいにしないって言う人は別です。その人はその人でしっかり、反省して、今後、イジメをしないって言う人は、私はぜんぜんいいと思います。非行やイジメは、一歩ふみまちがえば、一生つづかなければいけない罪をおかすかもしれません。だから、私は、非行やイジメをしている人は、今すぐやめてほしいと思っています。今、もしやめていたら、未来が少しづつかわるかもしれないので、今、やめることを願っています。